



ペットボトル・リサイクル CVSモデル

株式会社セブン&アイHLDGS.
CSR統括部 環境推進オフィサー
小峰 一也

ペットボトル・リサイクル

・ペットボトル出荷本数

	2004年	2014年	増減
出荷数(億本)	148	203	137%
環境負荷(千t/CO2)	1,683	1,671	99%

・ペットボトルリサイクル

	PET販売量	リサクル量	国内リサクル	海外リサイクル
量(千トン)	569	470	270	191
率	100.0%	82.6%	47.5%	33.6%

出展: PETボトルリサイクル推進協議会 2015年度版年次報告書

- ・課題
 - ①国内循環=47.5%と少ない
 - ②BtoBリサイクルへの取組み=33.6千t(7.1%)

日本の課題に向けたセブン&アイの取組み



2012年

2015年

2020年

第一ステージ

第二ステージ



2012年より
スーパーでの店頭回収



2015年12月より
CVSでの店頭回収をスタート



↓
現在292台稼動

モデルの検討

目的: 資源の国内循環とともに、小売としての販売、回収、商品化を実現し循環型モデルを目指す。

検討: 江東区での検討

理由: ①東京オリンピック2020を鑑み湾岸エリアを想定
②セブンイレブンはS49年5月に江東区で1号店が産声をあげた



江東区



新スキーム



昨年度(ペットボトル)回収量

4,000t

設置店舗 (15年12月3日設置、4日～稼動)

セブンイレブン江東枝川2丁目店



- 江東区の人口は、488千人、枝川地区(1丁目～3丁目):3,873世帯、9,090人
- 自動回収機、初めての24時間稼動 (前面は道路、裏は駐車場、2階はデニーズ、上は高速道路)

【設置状況】

※12/2Wを100とした指数

	12/2W	12/3W	12/4W	12/5W
回収本数	100	116.9%	128.9%	108.3%

- ・ナナコカードを利用して投入された方は「92.1%」
- ・1本投入(30.9%)、2～5本投入(42.1%)、6本～(26.9%)
- ・22時～10時に利用した人は「15.8%」

お客様、お店の反応

江東木場3丁目店



江東枝川2丁目店



アリオ北砂店

イトーヨーカドー木場店

【お客様の反応】

- ・近くに住んでいるので、家でためずに投入できリサイクルできるのが良い
- ・資源を有効に使い、自分にもポイントが貯まる仕組みが良い
- ・きれいにしたり、キャップをはずすくらいなら無理なくできる

【お店の反応】

- ・一番はナナコカードの加入者増えたことがうれしい
- ・東京オリンピックに向け環境意識が高まる中、少しでも循環型リサイクルに協力できており、様々な方から良い取組みと評価を頂いている

2020年に向けての課題

【評価】

- ・利用者及び設置店舗からの評判はとても良い
- ・現在2店舗で実施しているが、物流効率や面(エリア)で展開することでの回収量など今後テストをしてみたい

【課題】

- ・コスト(回収機、回収コスト、メンテナンス)
- ・回収量が増加した時の保管場所、作業の増加(店)、故障時の対応
- ・設置場所(賃貸物件は家主承諾必要、狭小店舗の設置場所)
- ・立地条件(騒音問題)

【目標モデル】

